

防除時期	対象病害虫	重複記載※	蜜蜂に対する影響日数残留(—は影響なし)	登録農薬名	RACコード	薬剤の種類(系統名)	希釈倍数	水100%当たり薬剤量	使用時期	使用回数	備考
仮植前	萎黄病		—	ベンレート水和剤	F:1	ベンゾイミダゾール	500倍	200g	仮植前	1回	1~3時間苗根部浸漬
	炭疽病										10~30分間苗根部浸漬
	萎黄病		—	トップジンM水和剤	F:1	チオファネート	300~500倍	200~333g	仮植前	3回以内	1時間苗根部浸漬
定植時	アブラムシ類		45	ベストガード粒剤	I:4A	ネオニコチノイド	1g/株	—	定植時	1回	植穴処理土壌混和
定植時	コナジラミ類・コガネムシ類幼虫						1g/株		定植時		植穴土壌混和
生育期 (定植30日後まで)但しマルチ被覆直前まで	アブラムシ類		1	モスピラン粒剤	I:4A	ネオニコチノイド	0.5~1g/株	—	生育期 (定植30日後まで)但しマルチ被覆直前まで	1回	株元散布
生育期	灰色かび病・うどんこ病	①	2	ポリオキシンAL水和剤	F:19	ペプチジルピリミジンヌクレオシド	1,000倍	100g	収穫開始 14日前まで	3回以内	予防・治療
開花前	アブラムシ類	①	3	マブリック水和剤20	I:3A	ピレスロイド	8,000倍	12.5g	収穫前日まで	2回以内	劇
	ハダニ類・ハスモンヨトウ・ミカンキイロアザミウマ		14	コテツフロアブル	I:13	ピロール	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	卵~成虫(ハダニ) 劇
	ワタアブラムシ・ハダニ類・コナジラミ類		4	サンマイトフロアブル	I:21A	METI	1,000~1,500倍	66~100ml	収穫開始3日前まで	1回	劇
開花期	灰色かび病・うどんこ病	①	1	フルピカフロアブル	F:9	アニリノピリミジン	2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防
	アブラムシ類・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類	①	3	アーデント水和剤	I:3A	ピレスロイド	1,000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	卵(産卵抑制)~成虫
肥大期	うどんこ病	①	—	ジーファイン水和剤	F:NC、F:MO1	種々、無機化合物	750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	—	予防・治療(野菜類で登録)
	アブラムシ類・うどんこ病		1以上	ピラニカEW	I:21A	METI	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	卵~成虫 劇
	ハダニ類					2,000~3,000倍	33~50ml				
	灰色かび病・うどんこ病	②	2	ポリオキシンAL水和剤	F:19	ペプチジルピリミジンヌクレオシド	1,000倍	100g	収穫開始 14日前まで	3回以内	予防・治療
収穫期	アザミウマ類	①	1	カスケード乳剤	I:15	ベンゾイル尿素	4,000倍	25ml	収穫前日まで	3回以内	幼虫・脱皮阻害
	アブラムシ類・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類	②	3	アーデント水和剤	I:3A	ピレスロイド	1,000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	卵(産卵抑制)~成虫
5月中旬~	アブラムシ類	①	—	ウララDF	I:29	フロニカミド	2,000~4,000倍	25~50g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類・ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハダニ類		1	グレーシア乳剤	I:30	イソオキサゾリン	2,000倍	50g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類	①	3	スピノエース顆粒水和剤	I:5	スピノシン	5,000倍	20g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類		1	ファインセーフフロアブル	I:34	フロメキン	1,000~2,000倍	50~100ml	収穫前日まで	3回以内	劇
	うどんこ病	②	—	ジーファイン水和剤	F:NC、F:MO1	種々、無機化合物	750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	—	予防・治療(野菜類で登録)
	うどんこ病		1	ベルコート水和剤	F:MO7	グアニジン	4,000倍	25g	収穫前日まで	5回以内	予防・治療
	灰色かび病・うどんこ病	②	1	フルピカフロアブル	F:9	アニリノピリミジン	2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防
	灰色かび病	①	1	アミスター20フロアブル	F:11	メキシアカリレート	1,500倍	66ml	収穫前日まで	苗床4回以内 本圃3回以内	散布後高温が予想される場合は散布しない 予防・治療
	うどんこ病						1,500~2,000倍	50~66ml			
	うどんこ病	①	1	ストロビーフロアブル	F:11	オキシイミノ酢酸	3,000~5,000倍	20~33ml	収穫前日まで	3回以内	展着剤注意、予防・治療
	ハダニ類		1	ダブルフェースフロアブル	I:25B、I:21A	カルボキサニド、METI	2,000倍	50ml	収穫前日まで	1回	
	ハダニ類		1	バロックフロアブル	I:10B	エトキサゾール	2,000倍	50ml	収穫前日まで	1回	卵・幼若虫
	ハダニ類		1	ダニサラバフロアブル	I:25A	βケトニトリル誘導体	1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	全ステージ(特に幼虫)
	ハダニ類		1	マイトコーネフロアブル	I:20D	ピフェナゼート	1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	成虫・幼虫
	ハダニ類		1	カネマイトフロアブル	I:20B	アセキノシル	1,000~1,500倍	66~100ml	収穫前日まで	1回	全ステージ 葉裏に褐変症状
ハダニ類		—	ダニオーテフロアブル	I:33	アシノナピル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内		
開花前	ミカンキイロアザミウマ		10	マラソン乳剤	I:1B	有機リン	2,000倍	50ml	収穫3日前まで	5回以内	
	アブラムシ類・ハダニ類						2,000~3,000倍	33~50ml			
開花期	アザミウマ類		1	マッチ乳剤	I:15	ベンゾイル尿素	1,000~2,000倍	50~100ml	収穫前日まで	4回以内	幼虫・脱皮阻害
	うどんこ病	③	—	ジーファイン水和剤	F:NC、F:MO1	種々、無機化合物	750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	—	予防・治療(野菜類で登録)
肥大期	アブラムシ類	②	3	マブリック水和剤20	I:3A	ピレスロイド	8,000倍	12.5g	収穫前日まで	2回以内	劇
	うどんこ病		1	トリフミン水和剤	F:3	イミダゾール	3,000~5,000倍	20~33g	収穫前日まで	5回以内	予防・治療
収穫期	アザミウマ類	②	1	カスケード乳剤	I:15	ベンゾイル尿素	4,000倍	25ml	収穫前日まで	3回以内	幼虫・脱皮阻害
	アブラムシ類・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類	③	3	アーデント水和剤	I:3A	ピレスロイド	1,000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	卵(産卵抑制)~成虫
	アブラムシ類	②	—	ウララDF	I:29	フロニカミド	2,000~4,000倍	25~50g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類	②	3	スピノエース顆粒水和剤	I:5	スピノシン	5,000倍	20g	収穫前日まで	2回以内	
	うどんこ病	④	—	ジーファイン水和剤	F:NC、F:MO1	種々、無機化合物	750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	—	予防・治療(野菜類で登録)
	灰色かび病・うどんこ病	③	1	フルピカフロアブル	F:9	アニリノピリミジン	2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防
	うどんこ病		—	ガッテン乳剤	F:U13	シアノメチレンチアゾリジン	5,000倍	20ml	収穫前日まで	2回以内	予防・治療
	うどんこ病	②	1	ストロビーフロアブル	F:11	オキシイミノ酢酸	3,000~5,000倍	20~33ml	収穫前日まで	3回以内	展着剤注意、予防・治療
	灰色かび病	②	1	アミスター20フロアブル	F:11	メキシアカリレート	1,500倍	66ml	収穫前日まで	苗床4回以内 本圃3回以内	散布後高温が予想される場合は散布しない 予防・治療
うどんこ病	1,500~2,000倍						50~66ml				

* 使用時期の「収穫の前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。

* 重複記載欄に○がある薬剤は、本防除暦内で2ヶ所以上に記載されているため、使用回数超過に留意する。

アザミウマ類の防除について
 ・特にミカンキイロアザミウマの発生がみられる場合は、モスピラン顆粒水溶剤(希釈倍数2,000倍、使用時期前日まで、アセタミプリド成分回数注意)、アーデント水和剤を散布する。
 また、常々耕種的防除を徹底する。

・いちごは訪花昆虫(ミツバチ等)による受粉を行うので、開花時からは訪花昆虫に影響の少ない薬剤を選択し、防除体系をとる。

同一薬剤の連用、多数回使用は避けてください(特にピレスロイド系・EBI剤(トリフミン水和剤等))

◆防除器具の洗浄不足対策

- 防除器具は、前回散布後に十分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前にもう一度通水し洗浄しましょう。
- 防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。
- 洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。